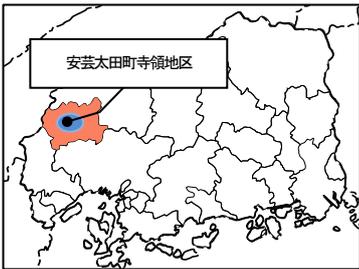


## 平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	ぎおんぼうの里の新たなコミュニティ維持・創生事業
対象地域	広島県安芸太田町 与一野 才中得 寺領 長原 地区
対象地域の概要	<p>○寺領地区連合自治会は太田川支流の寺領川沿いの4自治会で組織している。</p> <p>○15年前頃から人口の減少が急激に進み、高齢化率も高くなっている。</p> <p>○各自治会での自治運営は辛うじて保たれているが、人口の減少と高齢化が進むなかで、持続可能な自治運営の検討が必要な状況である。</p> <p>○平成20年3月、この4集落を校区としていた寺領小学校が廃校となっている。跡地利活用案のひとつとして都市部の企業や住民団体の活動拠点への転換が挙げられている。</p> <p>○特産品の祇園坊柿の生産地であり生産組合が組織されているほか、地区営農組合も組織されているが、高齢化が進むなかで今後の取組みが危惧されている。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【位置図】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【廃校となった寺領小学校】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【祇園坊柿団地】</p> </div> </div>
提案内容の概要	<p>寺領小学校廃校後、小学校区である4自治会が連携する機会が減少するなかで、廃校利活用計画の策定を切口にして、「自治会の枠を超えた新たな自治組織の在り方」、「企業や都市住民団体との集落維持活動」、「農業体験を軸にした地域間交流」の可能性について、調査及び試行活動を行い持続可能な地域コミュニティを創出する。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>この15年間で人口は27.5%減少、高齢化率は11.8%増で、少子高齢化が進み平成20年3月には小学校が廃校となった。4自治会を小学校区としていたことから、小学校が4自治会を結ぶ機能を発揮しており、小学校行事等は4自治会が連携して支援していた。廃校後1年が経過し、連合自治会として取組む事業等も少なくなり、さらに各自治会の自治機能も組織の高齢化とともに低下しており、連合自治会の機能再生が地域の課題となっている。</p>
(2) 活動内容の案	<p><b>活動①</b>：自治会の枠を超えた新たな自治組織の検討</p> <p><b>内容</b>：</p> <p>自治会機能のうち、4自治会が連携、共同して行うことが可能なもの、有効なものまたは、集約が可能なもの等の検討を行い、新たな自治組織の運営について検討する住民ワークショップを開催し、地域全体の合意形成を図る。また、併せて地域課題となっている小学校跡地利活用策の検討もを行い、利活用案として浮上している企業等の農村体験活動拠点への転換の可能性について検討する。</p> <p><b>活動②</b>：企業や都市住民団体としての集落維持活動の試行</p> <p><b>内容</b>：</p> <p>企業や都市住民団体の農村体験のフィールドとして協議会が耕作放棄地を借上げ、これを活用して農産物の生産活動（植付、草刈り、収穫）を地域住民の指導を受けて企業や都市住民団体が行う。この活動を通して、寺領地区の企業や都市住民の農村体験フィールドとしての可能性を検討するとともに、地域内者と地域外者のWIN×WINの関係構築を図る。</p> <p><b>活動③</b>：農業体験を軸とした都市住民との交流事業の試行</p> <p><b>内容</b>：</p> <p>祇園坊柿生産組合で実施している「柿オーナー制度」の交流活動にくわえ、<b>上記②</b>の活動にも交流事業</p>

	の要素を付加し、都市住民が農作業によって交流する機会を創出し、リピーター型の農業交流事業を行う。
応募団体名	寺領地区地域づくり協議会
リンク	
部局／担当者名	安芸太田町役場 総務課 / 二見 重幸
連絡先	0826-28-2112
推薦市町村名	広島県 安芸太田町